

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	OECD/CERI分担金		事業開始年度	平成7年度		作成責任者
担当部局庁	大臣官房国際課		担当課室	国際課		国際課長 池原 充洋
会計区分	一般会計		上位政策	国際協力の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計 画、通知等	—		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	OECD教育研究革新センター(CERI)において、教育革新研究活動、加盟国に教育革新を導入するための計画、教育研究・革新についての加盟国間の協力体制等を推進する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	OECD教育研究革新センター(CERI)事業に参加するための分担金。 (OECDに対する拠出。分担率は、各国の過去3年間のGNPを基に算出。) CERIでは、OECD加盟国における教育革新研究活動、教育分野におけるイノベーションを推進するための実験・教育研究事業を行っている。本分担金は、我が国がCERIの事業に参加するための経費である。					
実施状況	2009年度 日本の分担率 14.653% CERIの事業は、各加盟国(30か国：2009年度現在)から1名ずつ選出される学識経験者で構成される運営理事会の決定に基づき、OECD事務総長の監督の下、CERI事務局で実施している。主な事業活動は、以下の通り。 ・グローバルイノベーションと言語能力 ・学習科学と脳研究 等					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	93	88	70	70	63
	執行額	82	88	70		
	執行率	88.2%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	82	88	70		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	OECD/CERIの定例会合(毎年2回開催)に出席し、CERIの財政状況及び本予算の執行状況の報告を受けている。				
	見直しの余地	従前より、定例会合において、優先度の高い事業に対し予算を執行するよう我が国からOECD事務局に要請している。今後も、OECD事務局が予算を効率的に執行し、より透明性の高い予算執行となるよう、要請していく。				
予算・監視・所効見率化	1. 事業評価の観点：この事業は、OECD教育研究革新センター(CERI)事業に参加するための分担金を支出している長期継続事業である。 2. 所見：本事業は、平成7年度から行っている長期継続事業であり、我が国がCERIの事業に参加するための経費である。また拠出金の分担率についても、過去3年間のGNPを基に算出しているため、現行において、見直しの余地はなく、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。					
補記						

OECD/CERI分担金

文部科学省
70百万円

【分担金】

A.OECD: 70百万円

OECD教育研究革新センター
(CERI)事業に参加するための分担
金。

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

A.OECD			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	OECD教育研究革新センター (GERI)事業の運営に必要な経費	70			
計		70	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出さ
 れている者について記
 載する。使途と費目の
 双方で実情が分かる
 ように記載)